

# JUNGLIDO

遵義の桜、咲いて100年

1898 =  = 1998

1998年は創立100周年です

## CONTENTS

創立百周年に因んで	1
同窓会入会にあたって	1
平成10年度総会案内	1
百周年実行委員会報告	2
卒業年別募金納入状況	2
周年同窓会予告	3
特集「校歌に想う」	4
周年同窓会報告	6
同窓会理事会・百周年記念事業実行委員会開催報告	7
会費納入のお願い	7
膳所高NEWS	8

## 滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝  
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会  
 大津市膳所2-11-1  
 TEL.077-524-4295・FAX.077-524-1732  
 発行日/平成10年5月15日(再発行)  
 編集人/広報部会・谷口啓司  
 印刷/有限会社服部印刷所

VOL.12

### 創立百周年に因んで

膳所29回卒業生(昭和6年生) 山口 善造



我家から道三米をへだてた向い側の盛りあげた広々とした土地、これが現在の膳所高校の運動場である。膳所中学といわれた時代には旧校舎があった処である。私がこの学校に学んだのは、昭和のはじめ頃である。

卒業が昭和六年であるから、かれこれ七十数年になる。かわらずに今も住み続けている。今年が創立百周年に当たるとなると随分古い卒業生である。学校と自宅との至近距離数米……。同窓会誌に名をつらね、今尚第一線で働き続ける八十五才の老人……。学校に縁も深く、こんな男に執筆を依頼してみたらと思われたのかと思つて引き受けたのがこの随筆であると思し召してお目通し願えるなら望外の仕合せである。

姓は山口、名は善造。当地の生れでなく京都は西陣の産である。古くはないが天保年間以来の金銀糸屋の草分けの出で、箔善の屋号にて業界主流となりその存在は著名であった。ところが色々あつてわが先代の善三郎が膳所に分家したのが大正末期で、爾来滋賀県民、大津市民となつたのである。その一子善造の身に次々と起つた波乱万丈の人生を歩みますがすがとなつたとは、神ならぬ身の知るよしもなかつたのである。運命の岐路のそもその発端が膳所中学入学にま

つわる秘話である。敢えてこの言葉を用いた所以は嘗て世間の人に洩らしたことがなかつたからである。京都を去つて膳所に移住し幸いにも転入試験に合格して滋賀師範付属小学校に入り、六年生の時上級の中学校を選ぶについて、京都の長年の学友から一緒に京都府立中学へ揃つて受けようという誘ひ話を耳にした父が、激怒して一喝を浴びせ「この土地に立派な学校、しかも近くに何をも血迷つて京一中に引かれておるのか、己れに勉学の熱意があるなら膳所中学校こそ最も相応しい学校じゃないか」と強い説教をくらつてしまつた。天なるかな、命なる哉! 危いところであつた。これで目からうろこが落ちて膳所中学入学への特別に懸念の受持ちの先生にすべてを託して、黙々として勉学に励んだ。そして御蔭で好成绩で難関突破し現在の私に至る道へとつながつたのである……。

その後宿命を背負つて、ラメ織物の研究、完成に没頭しその目的を果し、銀の芸術創製技の誕生までに繋がつたことは、予想外の出来事であつた。今回校長先生よりの依頼を受け、創製技芸術を以て表現された校訓額が二十一世紀にかけて長く校長室の壁に掲げられ、本校の学徒に、作者の心が伝わり、おのがじし勉学の精進に寄与することになるならば、喜びこれにすぐるものはない。最後に滋賀県立膳所高等学校の益々の発展向上を祈つてやまない次第である。

### 同窓会入会にあたって

平成10年卒業 高橋 洋一



卒業式の日、アルバムを見てみると、高校生活は本当にあつたという間の三年間であり、また思い出のぎつしり詰まつた充実の日々であつたと思ひます。五島列島への修学旅行、皆で協力、団結して取り組めた球技大会、学園祭など数え切れないくらい貴重な体験を膳所高校が百周年を迎える年の四月より同窓会に入会させていただけると嬉しく思います。多く

の記念事業が行われますが、同窓会に入会したての私達も、諸先輩の皆さんと共に百周年にふさわしく大いに盛り上げていきたいです。また、百年の歴史が築き上げてきた伝統がいつまでも受け継がれるよう、そしてその上に次の百年の歴史を積み重ねる者として、努力していきたいと思ひます。卒業後、進路はそれぞれ違いますが、膳所高校で学んだことを生かし、この学校の卒業生としての誇りを持って、社会から期待されるような、自画像を確立していかなければならないと感じています。まだまだ経験不足な443名ですが、先輩方の御指導を支援として、それぞれの分野で活躍できるように自分の道を探していきたいです。そして二十一世紀、先輩の示される指針を目標に「遵義」「力行」の精神を継続させていきたいです。どうぞよろしくお願ひします。

会費納入ありがとうございました。

### 同窓会会費納入状況

皆様から納入いただきました、平成9年度の同窓会会費は、平成10年2月末日現在、  
**総額 13,559,000円**  
 となっています。前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただいております。  
 会員の皆様のご理解に感謝しますと共に、ますますのご協力をお願いいたします。  
 今回、平成10年度会費として振替用紙を同封いたしておりますので、ご納入のほどよろしくお願ひいたします。  
 会費納入の詳細については7ページをご覧ください。(財務部会)

出席の方は同封の葉書でお知らせください。欠席の方はご返信いただかなくても結構です。

●懇親会  
 (懇親会にご出席の方は、会費として10,000円を当日いただきましたたく存じます。)

●講演  
 「21世紀の展望」  
 講師 的場 順三氏(大津東一回卒) プロフィール  
 大蔵省入省の後、昭和から平成へ年号が変わる時の内閣内政審議室長、国土庁事務次官を経て現在は株式会社大和総研理事長。

●議事  
 平成9年度会務報告  
 平成9年度会計報告並びに会計監査報告  
 平成10年度事業計画並びに予算案  
 その他

●日時  
 平成10年5月9日(土)午前10時開会  
 (午前9時30分受付開始)

●場所  
 大津プリンスホテル  
 TEL.077-521-1111

●日  
 平成10年5月9日(土)午前10時開会  
 (午前9時30分受付開始)

●場  
 大津プリンスホテル  
 TEL.077-521-1111

●議  
 平成9年度会務報告  
 平成9年度会計報告並びに会計監査報告  
 平成10年度事業計画並びに予算案  
 その他

●日  
 平成10年5月9日(土)午前10時開会  
 (午前9時30分受付開始)

●場  
 大津プリンスホテル  
 TEL.077-521-1111

●議  
 平成9年度会務報告  
 平成9年度会計報告並びに会計監査報告  
 平成10年度事業計画並びに予算案  
 その他

●日  
 平成10年5月9日(土)午前10時開会  
 (午前9時30分受付開始)

●場  
 大津プリンスホテル  
 TEL.077-521-1111

●議  
 平成9年度会務報告  
 平成9年度会計報告並びに会計監査報告  
 平成10年度事業計画並びに予算案  
 その他

本年の総会は5月9日(土)に変更されました。  
 (例年と同催日が変わっています)

### 平成10年度 総会のお知らせ

膳所高等学校同窓会平成10年度定時総会を左記の要項により開催いたします。本年は創立百周年。百周年の準備作業も着々と進んでおります。秋の記念行事にむけて同窓生各位の尚一層のご参集をお願い申し上げます。



# 100周年実行委員会

## 部会報告

同窓会の皆さまのご協力を



### 記念行事式典部会

「同窓会式典（祝宴）」には三條正人・香山美子ご夫妻の来演を予定

「記念式典（学校式典）」には「第九」演奏と大合唱を計画

参加希望申し込みは4月30日までです。お忘れなく。

左記の参加応募要項により、「同窓会式典（祝宴）」と「記念式典（学校式典）」のそれぞれに、参加希望の申し込みを受け付けます。応募要項を熟読いただき、お間違いないようお願いいたします。なお、「記念式典（学校式典）」は今回が最終申し込みです。（全座席を指定するため。）

#### 「同窓生」の皆様へ

「記念式典」及び「同窓会式典（祝宴）」への参加希望の申込について

11月7日（土）に行います、百周年記念行事の「記念式典」及び「同窓会式典（祝宴）」への参加申し込みを、左記「参加応募要項」により受け付けます。申し込み締め切りは4月30日となります。なお、参加者確定の必要上、ご案内は、これが最終となりますので、ご注意ください。

#### ① 「記念式典」参加応募要項

「記念式典」は、学校が学校行事として行うものです。「遊義堂」11号でお知らせしましたように、会場が「びわ湖ホール」である関係上、生徒・来賓・旧職員・現職員席を約1400席予定としますと、同窓会・PTAにご利用いただけるのは約150席ずつとなります。参加のご希望も多いと思いますが、座席の制限がありますのでご了承ください。

参加ご希望の方は、次の2つの条件をご承知の上、必ず各自「往復はがき」をご用意いただきお申し込み下さい。なお、申し込み多数の場合は抽選で決めさせていただきます。（抽選結果の通知は7月末の予定です。）

条件1 「記念式典」の日程は次の通りです。この日程で必ずご参加いただける方のみ応募していただけます。

11時受付開始。12時開式。式典及び京都市交響楽団の公演の終了予定時刻は14時30分。

条件2 創立百周年記念関係の募金にご寄付をしていただける方であること。（平成10年6月末日までに）

なお、応募はがきには、次のことをお忘れなくお書きください。

① 「11月7日の記念式典参加応募」

② 住所（郵便番号もお書きください）

③ 氏名（ふりがなをおつけください）

④ 卒業年

⑤ 電話番号

⑥ 返信はがきの宛名

申込先は、「52010815 大津市膳所二丁目11-1 滋賀県立膳所高等学校 校友課」です。

#### ② 「同窓会式典（祝宴）」参加応募要項

「同窓会式典（祝宴）」は、同窓会が中心となって行うもので、同窓生・来賓・旧職員・PTA・現職員の参加で開催します。14時30分受付開始、15時30分開会、18時ごろ終了予定です。会場は大津プリンスホテルです。約700名を予定しておりますが、それ以上になってもご参加いただけます。なお、特別イベントとして、三條正人・香山美子ご夫妻の歌とトークを予定しております。是非とも皆様のご参加をお願いいたします。参加については、次の2つの条件をご承知の上、同封

のはがき（「同窓会総会」の返信用はがきと共用）でお申し込みください。

条件1 会費は1万円。

条件2 創立百周年記念関係の募金にご寄付をしていただける方であること。

#### 「第九合唱隊」編成にご協力ください。

11月7日（土）に「びわ湖ホール」で行います、百周年記念行事の「記念式典」において、京都市交響楽団による「ベートーベン交響曲第九番合唱付き」の公演を予定しております。当初、合唱隊は膳所高校在校生のみで編成する計画でしたが、生徒の実状で、「男声パート（特にテノール）」の数が不足する恐れが出てきました。そこで、同窓生・現職員・生徒の保護者にもご協力をお願いすることになりました。ただ、練習の機会が限られていますので、未経験の方にはご参加いただけません。過去に、第九を歌われた経験のある方、ボランテア的にご協力をお願いできる方（男性）がいらっしゃいましたら、是非ともご協力くださいますようお願いいたします。

お申し出については、4月30日までに、はがきに、①「第九合唱隊参加応募」と書き、②住所、③氏名（ふりがなをおつけください）、④卒業年、⑤電話番号、⑥第九経験回数、⑦パート」をお書きください。宛先は、「52010815 大津市膳所二丁目11-1 滋賀県立膳所高等学校 校友課」です。6月に第一回目の打ち合わせ会を持ちます。

#### 三條正人氏 プロフィール

本校昭和36年3月卒業（膳高第9回）  
東京ロマンチカのリードボーカルで活躍。  
「小樽の人よ」「旅路の人よ」「君は心の妻だから」などのヒット曲を生む。NHK紅白歌合戦には、昭和43年から6回連続出場。  
女優香山美子さんと、昭和48年に結婚。  
その後ソロ歌手としてデビュー、数々のヒット曲がある。平成10年には歌手生活35周年を迎える。



### 卒業年別平成9年度 募金納入状況

卒業年	件数	金額
旧職員（OBを除く）	63名	3,800,000円
大正9年（膳中）	2名	110,000円
大正10年（膳中）	3名	70,000円
大正11年（膳中）	2名	100,000円
大正12年（膳中）	1名	50,000円
大正14年（膳中）	5名	240,000円
大正15年（膳中）	3名	30,000円
昭和3年（膳中）	2名	60,000円
昭和4年（膳中）	4名	135,000円
昭和5年（膳中）	4名	35,000円
昭和6年（膳中）	12名	370,000円
昭和7年（膳中）	11名	166,000円
昭和8年（膳中）	11名	270,000円
昭和9年（膳中）	9名	120,000円
昭和10年（膳中）	14名	310,000円
昭和11年（膳中）	8名	225,000円
昭和12年（膳中）	16名	445,000円
昭和13年（膳中）	11名	335,000円
昭和14年（膳中）	26名	380,000円
昭和15年（膳中）	25名	450,000円
昭和16年（膳中）	29名	405,000円
昭和17年（膳中）	35名	245,000円
昭和18年（膳中）	21名	345,000円
昭和19年（膳中）	33名	540,000円
昭和20年（膳中）	66名	380,000円
昭和21年（膳中）	6名	115,000円
昭和22年（膳中）	55名	945,000円
昭和23年（膳中）	22名	270,000円
昭和24年（膳中）	6名	65,000円
昭和24年（旧膳高）	31名	430,000円
昭和24年（旧大津）	16名	325,000円
昭和25年（旧大津）	71名	500,000円
昭和26年（旧大津）	9名	95,000円
昭和26年（旧大津）	88名	636,000円
昭和27年（旧大津）	77名	063,000円
昭和28年（旧大津）	63名	009,000円
昭和29年（旧大津）	68名	953,000円
昭和30年（旧大津）	63名	605,000円
昭和31年（旧大津）	72名	250,000円
昭和32年（膳所高）	70名	165,000円
昭和33年（膳所高）	59名	801,000円
昭和34年（膳所高）	45名	218,000円

募金推進部



# 百年史記録部会

「教育史部分」「同窓会史部分」「写真集部分」の3部構成で編集作業を進行中です。  
 「教育史部分」の「通史」についてはほぼ編集が完了し、現在「特集部分」の編集にとりかかっています。

「同窓会史部分」は年代別座談会のタイプ起こしと仮編集が終了し、本格的な編集作業に入りました。また、班(クラブ)報告に関しては原稿締切日が過ぎましたが、一部未入稿の班もあり、原稿の督促と同時に入稿になった部分から編集作業に入っております。

「写真集部分」についてはラフプランが出来上り、現在部会でもってチェック作業をしております。遅れ気味であったスケジュールもほぼ回復し、6月中には編集作業を終了し、その後校正・印刷・製本作業を進め、予定通り10月末日の完成を目指し奮闘中です。

# 組織名簿部会

会員名簿につきましては、3月15日で会員の住所調査を終了し、5月下旬の発行に向けて鋭意作業を進めているところでございます。尚、その進行状況は別項(7頁)の「同窓会組織部会の名簿発行について」をご参照ください。また、当部会では、会員の組織を利用して募金活動推進を盛り上げるべく、学年別にご協力を呼び掛けていますのでよろしくご高配の程お願い申し上げます。

# 募金推進部会

1億円の目標額を設定し、募金活動を行っています。目標額の内訳は、昨年8月29日に発送させていただいた「一般募金」が4千万円、11月19日に発送させていただいた「寄付金控除対象募金」が6千万円です。

募金の目標進捗率は、平成10年3月15日現在で2,268件 42,131,771円であり、42.1%となっております。内訳は、「一般募金」が1,960件で25,603,770円、進捗率64.0%、「寄付金控除対象募金」が3,088件で16,528,001円、進捗率27.5%であります。同窓生が就職されている有力企業にも趣意書をお送りしていますが、四月より宇野同窓会長(委

員長)はじめ役員が手分けして企業訪問をし、更にお願いくことにしています。  
 学年、地域、職域等の同窓会組織におかれましても、機会ある毎に募金をお願いをさせていただき、ますよう重ねてお願い申し上げます。

# 環境・施設整備部会

平成9年6月に第二グラウンド設置が決定した後、急ピッチに話し合いを進め、8月18日には県への寄付採納届けを出し、受理された。その計画は、基礎体力の向上施設・設備として、トレーニングハウスを建設(5,500万円)し、トレーニング機器を購入(500万円)することであった。しかし、その後、学校の方から、建物の規模及び予算配分について一部変更の希望があり、現在修正を検討中である。基本的には、最大12m×27mの鉄骨造り、一部二階建ての建物である。  
 なお、第二グラウンドの造成工事の完了が当初予定より大幅に遅れるので、トレーニングハウスの建設も平成11年度になる。

# 広報部会

キャッチフレーズを募集し、「遵義の桜、咲いて百年」を決定。モニメント、校舎壁面垂れ幕、各種大会での応援の横断幕を作成。今後、「エコーはがき」の作成などに取り組み、百周年事業の盛り上げを図る。

# 周年同窓会予告

## 昭和28年卒業(東高1回)

45周年記念同窓会  
 昭和28年卒の45周年記念同窓会は、左記の様に膳所高創立百周年記念同窓会と同時に開催する予定をしております。  
 詳細につきましては後日早い時期に案内状等でお知らせしますが、ご予定に組入れておいていただきます様をお願いします。

# 周年同窓会予告

## 昭和33年卒業(膳所高6回)

膳六会40周年記念同窓会  
 ・平成10年8月15日(土) 正午  
 ・受付 11時30分  
 ・\*全体写真撮影 12時30分  
 ・会場 琵琶湖ホテル(大津市柳が崎)  
 ・会費 18,000円(二次会費込み)  
 ・連絡 先 伊藤 欣士  
 ☎077・524・8039  
 FAX 077・524・8189

## 昭和43年卒業(膳所高16回)

30周年記念同窓会  
 昭和43年卒の30周年記念同窓会は、左記の要項(予定)で計画しています。当同級会はオリンピック開催の年の1月2日に開催というつもりでしたが、百周年や他の行事と重なりましたので、一年ずらし、満30周年の1月2日に開催したいと思っております。  
 ・平成11年1月2日(土)  
 ・会場 新琵琶湖ホテル(浜大津)  
 その他は未定です。幹事会を招集して細部をつめたいと思っております。(川瀬善行)

## 昭和53年卒業(膳所高26回)

20周年記念同窓会  
 ・平成10年8月1日(土)午後5時受付4時30分  
 ・ホテルグランヴィア京都(京都駅ビル)  
 詳細については、6月下旬に案内状を送付する予定です。またインターネット(www.dns.or.jp/yoshida)でも案内を掲示する予定です。

## 昭和24年卒業(旧大津)

真珠会  
 ・平成10年6月21日(日)  
 ・会場 京都(蹴上)都ホテル  
 ☎075・771・7111  
 幹事 小嶋満智子(旧姓 西村)  
 ☎075・581・2870  
 磯谷 松子(旧姓 小宮山)  
 ☎077・522・2953

昭和35年(膳所高)	63名	1,045,000円
昭和36年(膳所高)	72名	1,340,000円
昭和37年(膳所高)	48名	676,000円
昭和38年(膳所高)	52名	650,000円
昭和39年(膳所高)	49名	353,000円
昭和40年(膳所高)	51名	850,000円
昭和41年(膳所高)	37名	537,700円
昭和42年(膳所高)	37名	805,000円
昭和43年(膳所高)	37名	575,000円
昭和44年(膳所高)	29名	455,000円
昭和45年(膳所高)	33名	430,000円
昭和46年(膳所高)	20名	340,000円
昭和47年(膳所高)	26名	410,000円
昭和48年(膳所高)	31名	540,000円
昭和49年(膳所高)	30名	450,000円
昭和50年(膳所高)	20名	228,000円
昭和51年(膳所高)	12名	140,000円
昭和52年(膳所高)	10名	160,000円
昭和53年(膳所高)	18名	305,000円
昭和54年(膳所高)	12名	200,000円
昭和55年(膳所高)	22名	260,000円
昭和56年(膳所高)	16名	215,000円
昭和57年(膳所高)	20名	273,000円
昭和58年(膳所高)	16名	195,000円
昭和59年(膳所高)	13名	120,000円
昭和60年(膳所高)	11名	145,000円
昭和61年(膳所高)	15名	180,000円
昭和62年(膳所高)	13名	125,000円
昭和63年(膳所高)	14名	128,000円
平成元年(膳所高)	21名	225,000円
平成2年(膳所高)	17名	155,000円
平成3年(膳所高)	31名	420,000円
平成4年(膳所高)	13名	135,000円
平成5年(膳所高)	22名	270,000円
平成6年(膳所高)	16名	190,000円
平成7年(膳所高)	18名	210,000円
平成8年(膳所高)	18名	175,000円
平成9年(膳所高)	26名	246,000円
現職員(OBを除く)	20名	390,000円
企業	1社	50,000円
通信制石鹿会	1	100,000円
納入者総数	42	2,268名
総額	42,131,771円	

(平成10年3月15日現在)

ご協力ありがとうございました。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

募金推進部会



# 特集「校歌に想う」

## 膳所中学校校歌

園 頌三 作词  
永井幸次 作曲

- 一、春鶯の琵琶の湖  
霞渡るをうら、けき  
陽は奥やかに輝きぬ  
その光うけ届け行く  
我が人生の朝ぼらけ  
げに明るくも明らかに  
見よや希望の白帆影  
平和のかもめ空に舞ふ
- 二、比良や比叡の峰の色  
秀麗の景つくりなす  
琵琶湖は吾等の友なれや  
鉄腕撫して漕ぎ廻り  
逍遙の杖此処にひく  
実に透徹と清澄の  
深くた、ゆるその姿  
智者仁人の心ぞや
- 三、拳世浮薄に流る、も  
郷土質実の風をうけ  
立つ学園の雄々しさよ  
心堅実かくてこそ  
天然の美も匂ふべし  
あ、青春の五星霜  
この学窓に托せしは  
まこと吾等の誇りぞや

(昭和4年3月制定)

## 昭和12年卒 片岡義道

「春鶯の琵琶の湖……」。草むす城は、跡古れど……。昭和10年ごろに胸中に学んでいた人は、恐らくこの二つの校歌を歌った覚えがあるであろう。われわれOBたる者はこれを皆で合唱すると、すべし昔の血気盛んな少年時代が思い出されて、無性に懐しく感じられるものである。ところで、終戦跡に所謂「国歌論議」が盛んになり、「君が代」すら知らない日本人が珍らしく無い今日此の頃であるが、だいたい国歌と

か校歌とか言われるものは儀礼的習慣によって便宜上存在するというのが実情であって、必要以上にその歌詞がどうだのというような、立て前の議論に拘泥すべき性質のものではないと考える。要するにわれわれが或る共同体(国・学校)に属している場合、その連帯感をこれによって理屈抜きに素朴に感じ取ればそれで事足りるとすべきで、校歌というのは同窓会の席上で懐かしがって歌えばそれでよいのだと思う。

## 膳所中学校校歌

山田有功 作词  
寺村周太郎 作曲

- 一、草生す城は墟古れど  
由緒たふとし「遵義」堂  
いくその星は移るとも  
先覚、範の微けく  
いま斯の道に継ぎ立てば  
男の児の衿新なり
- 二、学びの園に春されば  
昔ながらの山桜  
挿頭寸徽章も輝かに  
「至誠」の訓ささげもち  
日にけに磨く若人の  
日本精神を君見ずや
- 三、嵐に暮れて雪に明け  
ゆるがぬ永遠の大比叡  
白銀映ゆる象にぞ  
「自主」の教を仰ぎつつ  
雄叫び登る七百の  
(一千)
- 四、ああ青雲も向伏して  
秋澄み渡る琵琶の水  
流れは出て絶間なみ  
果て遙かなる和田津海へ  
帆綱手繰れば「力行」の  
わが朝発幸多し

(昭和11年5月制定)

## 昭和18年卒 飯田勝一

われわれ時代の在学中の校歌は「草生す城は墟古れど……」を唱った。同窓会発刊の「八十年誌によると、この校歌は昭和11年5月に制定され、それまでの「春鶯の琵琶の湖……」(学校創立以来校歌は無く昭和4年3月初制定)の校歌は約7年余先輩達に唱われてきたが、戦時色が次第に濃厚となって「春鶯の琵琶の湖……」といったような長閑な歌詞では如何なものかとのことから、これに代って校訓と郷土の色彩を盛り込んだ校歌になったといふことである。爾後、昭和30年9月に制定される大津高等学校歌まで「草生す城は……」は後輩の皆さんに引継がれたことになる。母校の校歌にも昭和初期の泰平の時代から軍国調に、強大な歴史の波によって変遷する様子が伺える。

ともあれ、われわれの校歌が軍国調であろうとなかろうとやはり懐かしいものである。毎年一回開催するわれらのクラス会の開めには必ずこの校歌を合唱してお開きとしてい。

## 大津高等学校校歌

山本温子 作词  
片岡晴太郎 作曲

- 一、比良の嶺に雲はいゆきて  
鳩の湖たゆたふ叫  
若人はここに集ひぬ  
輝ける大津高校
- 二、智の泉真理の岡は  
はるかなりいざ共にこそ  
ひたぶるに道を求めて  
のびゆかん大津高校
- 三、小波の志賀の都に  
咲き匂ふ文化の園生  
とこしへに香ぞ高き  
光あれ大津高校

(昭和24年11月制定)

## 昭和25年卒 上川温子

高校卒業後49年、校歌の特集にあたり「どのような思いで作詞したか」と聞かれ、本当に戸

惑った。高校三年生の当時を思い返してみても、自分の書いたものが、校歌に決定した驚きの方が大きく、深い思いや、意気込んだ気持はなかった。何かこれを書いた根拠にあったとすれば、その一つは疎開で大阪の女学校から、大津女学校に編入し、学制改革により高等学校となり、環境の変化に馴染めずに過していたこと、もう一つその頃一冊の萬葉集の本にめぐりあったことではないかと思う。更に受持の福島笑子先生が、自分史を書くように云われ、これはなかなか筆が進まずにいた時、校歌募集を知った。提出したものを少し手直したように思う。校歌は歌う機会が少ないだけに、馴染み薄いが、何年間か歌って頂いたことに感謝と、晴れがましさを感している。

## 大津東高等学校校歌

山本温子 作词  
片岡晴太郎 作曲

- 一、比良の嶺に雲はいゆきて  
鳩の湖たゆたふ叫  
若人はここに集ひぬ  
輝ける大津東高校
- 二、智の泉真理の岡は  
はるかなりいざ共にこそ  
ひたぶるに道を求めて  
のびゆかん大津東高校
- 三、小波の志賀の都に  
咲き匂ふ文化の園生  
とこしへに香ぞ高き  
光あれ大津東高校

(昭和24年11月制定)

## 昭和29年卒 井上石子

一昨年の膳所高校百周年実行委員会で、校歌を卒業年次順に斉唱することになった。昭和29年度卒業の私達は、大津(東)高校校歌で「東」をデフォルメして歌った。すると、懐かしさが込み上げ高校時代が一気に甦った。戦後まもなくて寒風の中一枚のガラス窓を譲り合っての授業、茶臼山での写生、膳所城址でのファイヤー等。

戦後の教育制度(6・3・3制)の改革によ



り、私達は天津高校として入学したが、その後、普通科と商業科に2分割され天津（東）高校で卒業した。伸び伸びとした学校生活で、学習は各自が意欲的に取り組むことが望ましいとする校風であった。とりわけ、私達の学年は幼・小・中と一緒にあった友達も多く、現在も年に一回は集まり、その他個々でも出合っている。近年、私も期せずして大手術を受けたが、こうした友情に支えられて危機を乗り越えることができた。私達は、このように強い絆で結ばれている。伝統ある膳所高校卒業生として来る百周年記念式典でその絆をより一層深めたく思っている。

## 大津東高等学校校歌 膳所高校校歌

校歌作成委員会 作詞  
作曲

- 一、混漑の湖 日に映えて  
霊峰青し 比良比叡  
遙けく高き 白雲に  
聳えて立てる 学び舎は  
われらが永久の 故郷ぞ
- 二、道義の桜 咲く庭に  
いざや鍛へむ わが力  
石鹿城址 松籟の  
響かふ窓に 書よみて  
ともに啓かむ わが智徳
- 三、良友ここに 盟ひては  
久遠の理想 失はじ  
星霜三たび 刻苦して  
不壊の操の いや固く  
古人の功業 継ぎゆかむ

昭和29年7月歌詞制定  
昭和30年9月 曲制定

平成8年 植村 涉

僕達の世代で、校歌を想うことができる人はいるのだろうか。いや、それ以前の問題として、校歌を歌える人は何人いるのだろうか。  
高校時代を改めて振り返ってみると、校歌を練習したことがあるという人は、音楽授業の選

択者か、野球部の人達だけで、他の人は聞き覚えという状態であった。また、体育館で歌う時に、テープで校歌を流すというのも生徒の校歌離れの原因だったのではなからうか。歌わずに立っているだけの人もいれば、隣の人と雑談している人もいる。無駄な時間が流れている。そんな校歌斉唱は大嫌いだ。

しかし、そんな僕達全員が、校歌を大切に歌ったことがあった。卒業式である。「もう二度と校歌を歌わなくてよい……」いやいや「歌うことができなくなる」そう思うと自然と声高々と歌うようになったのだらう。

結局僕達は心の奥底で、校歌を、そして膳所高校を愛していたのであろう。

## 逍遙歌

守谷 信二 作詞  
中江 久哲 作曲

- 一、聳ゆる麓 蒼蒼生して  
歴史ある五十年  
我等が誇る先達の  
結びし高き夢の跡
- 二、遊子が影を宿したる  
朝なほ早き鳩の湖  
高き希望を就ひたる  
昔ながらの比良比叡
- 三、比良の高嶺の雪とけて  
緑の若草萌ゆるとき  
熱き血潮の若人が  
自由を叫ぶ意気見よや
- 四、暮れ行く琵琶の松風に  
沖の漁火 眺めつつ  
文を片手にさまよへば  
思ひは遠き嶺の雪

昭和28年10月、逍遙歌「そびゆる麓」が生徒会で制定された。

この逍遙歌制定には、生徒会長村田壽氏（故人、昭和29年東高2回）が会長就任にあたり、「本校の幾多の伝統ある輝く歴史を守り、その栄えある歴史に一層の光彩を与え、勝利の栄冠を

獲得せんとする」を意図とし、「生徒に愛校心を高め、全生徒の士気を高めるような、生徒会のシンボルとしての歌、逍遙歌を持つべきだ」との考えがあった。

まず生徒に歌詞を募集し、その応募作の中から、入選作数点を選び、その選定された歌詞に付ける曲を再度募集し、各組から選出された選考委員による投票により、作詞、作曲の総合点で決定した。

現在歌われている「そびゆる麓」は守谷信二氏（昭和29年東高2回）の作詞、中江久哲氏（故人、昭和27年東高3回）作曲によるものであるが、この曲の作詞者守谷信二氏は、「私の作品は、入選作のうちでは最下位だったと思う。しかしそれも無理からぬ事で、私は柔道班にいて班活動に熱中していたが、締め切り間近になっ

て、村田会長から「応募作品が少い、運動班からも1つ出してほしいので、是非やって見てくれないか」との要請を受け、2日程で作った詩だったのです」と語ってくれた。

この歌詞に中江久哲氏が曲を付け、総合点で1位となり、採用され現在も歌い続けられている。「ただ、4番の最後は私の詩では『峯の雲』だったが、出来上がったものは『峯の雪』になっていた。これは『雲』では語呂が悪く、『雪』になったよつだが、『峯の雲』とした理由は平忠度（たけのくに）が都落ちをするとき、一巻の和歌を師の俊成（しゅんせい）に渡し「前途程遠し 思ひを 雁山の夕べの 雲に馳す」（平家物語第7巻 忠度都落）と一声を残して去ったというエピソードが頭にあったから」と説明してくれた。

大津東高新聞より抜粋（山田）

## JUNGIDO 募集 百周年記念特集

### 親子孫 三代同窓生

次号JUNGIDO（13号）では、百周年記念特集として、親、子、孫、三代にわたる同窓生一家の取材記事を掲載する予定です。  
つきましては、三代にわたる同窓生一家を募集いたします。お気軽にご応募ください。

### 我がが教師のニックネーム

本校にはいつの時代にもそのお名前よりもそのニックネームで呼び親しんできたユニークな先生方がたくさんおられます。名前は思い出せなくてもニックネームを聞けば「あ、あの先生！」とその先生の表情やことば癖まで瞬時に思い起こされます。各年代の先生方の、また世代を越えての共通項のような先生方のニックネームをお寄せください。出来ればその由来も添えて、奮ってご応募ください。次号（13号）でとりまとめご紹介いたします。若い同窓生の方々のご応募も歓迎いたします。

### 膳所高校「語」

同窓生の皆様にとって、膳所高校といえば思いつく、あんなこんな単語とか熟語。膳所高校ならではの固有名詞や造語。  
どんな言葉でも、皆様の青春時代を懐かしく思い出させる数を募集しています。  
ほら、今何か思い浮かべたでしょうか？  
次号 13号に掲載いたします。事務局までお送りください。お待ちしております。  
例えば道義・石鹿・プランクなどなど。

- 応募締切／いづれも平成10年6月30日
- ニックネーム・膳所高校「語」は郵便かFAXで事務局までご送付ください。親子三代同窓生はTELでも結構です。
- 連絡先／同窓会事務局 TEL 077-524-4295  
FAX 077-524-1732





# 周年記念同窓会

## ななしの会 (大津高1回)



私達、大高一回卒業生には「ななしの会」という同期生の親睦会がある。先ず、会名の由来は、仲々決まらないのなら一層名前のない会にしようと言う事になった。その歴史は古く、昭和47年に神戸で2、3名が集まったのが発端となり、以降、もつと仲間を呼ぼうよ、と年々輪が広がり、昭和57年から、男女一揃の一泊旅行となつて今日に至っている。今回(平成9年9月6日〜7日)は男子19名、女子28名の計47名が北陸は「辰口温泉」へ親睦の旅を楽しんだ。

当日は、前日までの晴天が嘘の様な小雨となり、幹事の精進の悪さで頭の下げ通しの有様であった。しかし、料理の良さや、風呂の趣向、湯の加減、立ち寄った神社仏閣等々申し分なく満足々々の評価を得て幹事冥利に浸っている所である。

最後に、出席者全員のご提案により、学校の創立百周年事業の足しにと募金を頂戴し、送金した。

(幹事 岡角 憲次、荻原 貞子)

## 霜月会 (昭和25年卒業)



霜月会は、戦後間もない昭和23年当時の高校2年生のクラス会です。毎年11月の例会はもう50年近く続いていることになりました。

昨年は11月8日に、参加者18名が北陸の山中温泉に集い、歓談の一夜を過ごしました。翌日は見事な紅葉に包まれた真言宗の名刹那谷寺、江戸時代の活躍ぶりと繁栄がしのばれる北前船の里などを巡りながら秋晴れの一日を楽しみました。

残念なのは、病気や身体障害などで出席できない人が少なくかつたことですが、みなさんお互いに健康で、たくさんの笑顔がこの会に集まることを心から願っております。

(古市 稔)

## 昭和26年卒業 (大高2回) 同窓会

晩秋の比叡山を眺めながら11月16日(日)「旅亭紅

## 30周年記念同窓会 (膳所高15回)



松飾りも晴れ晴れしく新年を祝う中、1月3日大津プリンスホテルにて同窓会が開催されました。厳寒の候にありながら、春のように穏やかな陽光が降り注ぎ、自然も私たちに祝福を贈ってくれるようでした。会場は久々に顔を合わせた友だちの、積もる話や互いの息災を喜び酌み交す祝杯に、まるで花が咲いたようでありました。遠く青森から、夜間に車で高速道路を飛ばし、はせ参じてくれた友、前日より泊まりがけで参加してくれた友、みな多忙な中、万障くり合わせての参加であったことと思います。果たして、命の洗濯の日、となり、明日への活力となり得たかどうか、確信はありませんが、願わくは次回もまた参加してみたい、との思いが一人一人の心の中に芽生えていますように。役員幹事一同、今後より趣向をこらし工夫を重ね、充実を図っていきたくと張り切っております。最後になりましたが、恩師の先生方の変わらずお元氣なお姿に、末長いご多幸を心よりお祈り申し上げ、また、私たちも負けてはならじと励まされた一日でした。

なお、参加費の中から、母校に「テント一張」を寄贈させて頂きました。

(近藤 富子)

「ストラや定年まじかの窓際においてられる歳である。しかし、自分では歳を取ったという実感がまだ薄い。」

平成9年11月24日(祝)に大津プリンスホテルにて、南光雄先生、中山弘義夫先生、中山弘先生、岡田節夫先生、前川哲郎先生、谷元峰男先生、角井英子先生をお迎えし、膳所高校第40周年の記念同窓会を開きました。

## 40周年記念同窓会 (膳所高5回)

膳所高を卒業して40年を経過し、還暦を迎えようとする年令が近づいてきた。昨今の厳しい経済情勢で



参加者は恩師7名、同窓生11名の計18名が一同に会し、記念写真を撮り、簡単な一通りのセレモニーの後、食事と歓談に、あちこちのテーブルで大変な盛り上がりとなりました。卒業後40年振りの人や、久しぶりの顔も見え、胸のネームカードを見てからでないと思ひ出せない人も居られた。二次会にも74名と多くの参加があり、時間の経つのも早い気がして、これで皆と別れるのも名残り惜しい思いでいっぱいでした。同窓生が百周年に元氣で再会出来ることを祈念して会場を後にしました。

(小西英太郎)

## 35周年記念同窓会 (膳所高11回)



昭和38年卒業生による卒業35周年記念同窓会が、去る1月3日、ロイヤルオークホテルにて、担任の恩師の方々5名のご光臨を得て参加者約100名の規模で開催されました。開宴までの待ち時間に奥田君によるお茶のおもてなしを受けたあと、まず記念撮影。続いて新春にちなんで同窓生2名による箏曲の生演奏の後、乾杯。琴の音をBGMに歓談、過去5年間の活動のVTRとスライド紹介、参加者のスピーチと、時の経つのを忘れた一日でした。2次会、3次会と宴は続き、名残を惜しみながら5年後の再会を期して散会しました。

(小笠原 勇)

## ゴルフ大会報告

平成9年10月20日(月)第2回同窓会ゴルフ大会が山々の色づきはじめた信楽の里のメイプルヒルズゴルフ倶楽部で開催された。

このゴルフ大会は、同窓会事業部会の主催に依るもので、前回同様各学年理事を通じて参加者を募集し、今回は125名(内女性10名)の参加を得て開催された。当日は、天候にも恵まれ、絶好のコースコンディションのもと、先輩後輩の枠を越え、早朝より熱戦をくりひろげた。

プレー終了後は、宇野勝同窓会長も遠路駆け付けられ、クラブハウスにおいて和やかな懇親会が開かれた。そして、しばし歓談の後、成績発表があり、入賞者に同窓会長より賞品が手渡された。

尚上位入賞者は次の通り

優勝 三田隆之氏(膳所高12回 昭和39年卒)  
2位 川崎啓蔵氏(膳所高8回 昭和35年卒)  
3位 二階堂進氏(膳所中45回 昭和22年卒)

## 第3回 同窓会ゴルフコンペ開催予告!!

大好評の同窓会事業部会主催ゴルフコンペ。今秋も開催されます。同窓会長杯、賞品多数、同級生お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。

・開催日 平成10年9月14日(月)  
・場所 メイプルヒルズゴルフ倶楽部 甲賀郡信楽町代65  
開催要項は7月中旬に決定します。

## ラグビー班全国大会出場 花園を経験して

幾度となく八幡工業の厚い壁に阻まれ、多くの先輩達が涙を流したことが。そして、後半20分を過ぎて1点差を追う展開で、劇的な逆転ドラマが始った。残り5分、自陣より果敢に攻め見事にトライ。ゴールも決まり6点リードでノーサイドを耐えるが、八幡工業の怒濤の反撃が、ゴール前で襲う。耐えに耐えぬくが残り一分を切つて、ゴールと真中にトライを許し、「又今年も負けか!」と頭をかすめる。野球で言えば、過去に八幡工業に逆転サヨナラで敗れたことがあり、勝負の厳しさを何度教えられたか。「やっぱりダメだったか!」

ところが、運命の女神は膳所に微笑んでくれた。正面のゴールが決らず、ノーサイド。歓喜の渦がグラウンドに広がる、感動的なゲームでした。グラウンドに駆けつけてくれた生徒達をはじめ、先輩諸氏に感謝の気持ち一杯です。花園では、全国の壁を経験しました。この経験を糧に今後高一層の精進に励みたいと考えております。

(ラグビー班顧問 高田留治)

## 第28回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会(報告)

平成9年12月23日(火) 於 東京体育館  
結果 一回戦 膳所高 37 (14対27) 金沢市工高 64 (23対37)

3月に実施されていた大会が12月に変更になり、あわせて三年生の出場も可能となったからの初出場。学校関係者の応援がなく寂しく感じられたが、在寮のOBやOGをはじめ部員の保護者や膳所高校の卒業生が50名近く応援に駆けつけてくれたことが現役の励みとなった。全国大会五連敗。(バスケット班顧問 須田)



# 同窓会理事会並びに 創立百周年記念事業 実行委員会総会 開催される

去る3月28日(土)午後3時より、大津プリンスホテルで右の会議が開催された。この会議では5月に開催される総会と、今秋に迫った百周年記念の事業について白熱した討論が交わされた。本来なら2つの組織故、別々に開催されるべき会合だが、理事と実行委員を兼務しておられる方々が大多数のため、同時開催となった。



会議は宇野敏一 同窓会副会長・実行委員会副実行委員長の開会宣言により開会。  
宇野勝 同窓会長・実行委員長、武原博 中学校長・実行副委員長、中村道男 P.T.A. 会長代理の奥村由美子 P.T.A. 副会長の各氏より挨拶をいただいた後、顧問来賓の先生方を御紹介。岩崎栄三 同窓会名誉会長、武原博 中学校長、奥村由美子 P.T.A. 副会長、松山義夫、佐野三郎、芦田博の元校長先生方、吉田清一、家森茂樹の両県議会議員の先生方、澤幸雄 教頭、さらに関東膳高会を代表して清水健至副会長の各氏がそれぞれ紹介された。

この後、飯田勝一 常任

理事長を議長に選出の後、議事に入った。  
同窓会理事会の議事として

- (1)平成9年度会務報告・部会報告
- (2)平成9年度会計中間報告
- (3)平成10年度事業計画・予算案



同窓会総会の様子

又、創立百周年記念事業実行委員会総会の議事としては  
(1)会務報告  
(2)会計報告・会計監査報告  
(3)各部会事業計画・予算案  
が、それぞれ、活発な討論の後議決された。  
最後に岡角憲次副会長・組織名簿部会部会長の閉会宣言により、会議を終了した。  
尚、百周年記念関係は、各部会からの報告を参照していただきたい。

## 組織部会より 名簿発刊について

会員の住所確認につき、平成9年8月に第一次、10月に第二次調査カードを発行し、2月末で判明者が24、454名、不明者3、044名、判明率90%という結果が出ています。今後も住所変更

や判明者が出ましたら即刻事務局までご連絡をお願いいたします。名簿の発刊は5月末を予定しています。  
お蔭様で、会員名簿の購入予定者が5、909名となり目標6、300名に今一步というところ  
です。  
また、広告協賛者は目標を越える協力を得る事が出来ました。

## 「わが母校」膳所高校 読売新聞滋賀版に連載中

県内の高校の足跡をOBの証言からたどる、読売新聞「わが母校」シリーズの一回目として、わが膳所高校が選ばれ、平成10年2月3日からほぼ週一回、滋賀版に連載されています。  
膳中時代のいわゆる「赤旗事件」から始まり、3月31日現在、通信制を取り上げた7回目まで進みなお継続中です。創立百周年を迎える年にふさわしい、記念すべき記事です。



## 事務局便り

創立百周年の年に入って、定例役員会・部会の開催も頻繁になり、同窓会事務所への会員さんその他の出入りが多くなって来ました。  
年初には、平成9年度分所得税の確定申告時にあわせて、昨年12月末日迄に「所得控除対象募金」(即ち創立百周年記念環境・施設整備募金)にご寄付いただきました同窓会員244名の方々に宛て、確定申告の際、所得控除の証明資料となる「領収書」を送付させていただきました。

なお、今年に入ってから、所得控除対象募金にご寄付いただきました方々には平成11年2月の確定申告の頃にあわせて「領収書」を発行するつもりですが、それまでに必要な方は、個々に事務所宛お申し出ください。ご要請次第送付させていただきます。但し、原則として再発行は致しませんので紛失されないよう十分気をつけてください。  
漸次繁忙化するところへ、今冬は国際級の風邪が流行り、事務職員やご家族にも影響が及んで大弱りました。何か頑張りましょう。

## 同窓会会務報告

1997年  
11・1 同窓会役員会  
11・4 知事・教育長に挨拶

11・5	JUNGIDO第11号発行
11・5	寄付金控除対象募金趣意書発送
11・23	同窓会役員会
1998年	
1	百年史記録部会
2	総務・財務合同部会
2	第3回百周年校内企画委員会
2	式典行事部会
2	百周年実行委員会・同窓会合同部会長会議
2	同窓会役員会
2	組織名簿部会
2	組織名簿部会
2	組織名簿部会
2	同窓会入会式
3	同窓会広報部会
3	同窓会広報部会
3	同窓会広報部会
3	同窓会役員会
3	百年史記録部会
3	総務部会
3	組織名簿部会
3	組織名簿部会
3	同窓会広報部会
3	同窓会理事會及び百周年実行委員会総会
3	同窓会広報部会
3	同窓会役員会
4	同窓会広報部会
4	同窓会広報部会

## 膳所高校卒業生寄贈図書 「石鹿文庫」

著者名	書名・巻次(版次)
小澤七兵衛編	童子一百集 小澤蕭鳳の教え
辻みゆき	女ひとりドケチ旅
	中国・バキスタン・イラン・トル
	コ・東欧へ
木村善光編	混濁の湖
	1980膳所高校3年7組
	学級日誌抄
谷口勝巳	近江の被差別部落落史
前田樹男	現代の絵画 VOL3
藤井基夫	道義の時代
小林博	地図情報VOL16
	No3 琵琶湖と地図
大阪市立大学地理学教室	日本の村落と都市
	地域の共同調査報告
秋友等 他	未来への提言
	青少年へ贈る言葉

## 卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。

同窓生の著書を集めた「石鹿文庫」も皆様のご寄贈で充実してまいりましたが、さらなる充実をめざしてご協力をお願いします。  
なお、ご寄贈いただく際には同窓会事務局までお知らせください。

# 滋賀県立膳所高校同窓会 平成10年度年会費納入のお願い

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。平成10年度年会費納入用の振替用紙を同封いたしましたので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

なお、住所等に変更がある方は振替用紙の訂正欄にご記入をお願いいたします。

### 記

〔会費額〕	年会費	3,000円
	5年会費	15,000円
	10年会費	30,000円

いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。

新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。

〔納入機関〕(振替用紙は共通です。)

郵便局	01010-3-30378		
銀行	滋賀銀行	本店(110)普	913381
	びわこ銀行	本店(111)普	335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高校同窓会会長 宇野 勝 です。

※同窓会からの領収書は発行していませんのでご了承ください。

※同窓会費用と百周年募金用の振込用紙をお間違えないよう、ご注意ください。





百年史編纂室より

教育史部分も締切を目前に控え、最後の追い込みに向かっています。100年の歴史の中で、特に大きな変化点、膳所高らしさあふれるもの、それを詳細にまとめようと努力しましたが、当初望んだ50~60項目のうち、形にできたのは30弱ぐらいに止まりました。やり直したことは多く、特に昭和40年代以降に関してはあまり面白いまとめ方ができないままに終わりましたが、明治・大正期の部分ではかなりの充実がはかれたものと思っています。

座談会に参加して下さった皆様には多くのことを話していただきました。それを完全に生かし切れず申し訳ありませんが、少しでも時間があれば目の前の生徒のために何かをしたいと思うのが教師の性ですから、ご容赦頂きたいと思えます。

ほか、写真のページについては一応の見本はできていますが、よりよいものを目指し、再度の写真の入れかえなどの微調整を行っています。こちらにつきましては、ある程度ご満足いただけるものと考えております。

教育史だけで一冊の本に、という当初の予定からすれば、教育史部分は細ってしまいましたが、その分逆に、教育史、写真、座談会、クラブ史とバラエティ豊かな本ができあがることと思えます。これまでご協力いただき、ありがとうございました。

教育史編集担当  
谷澤一輝 (膳高32回卒)

**遵義**  
誠実な心で、  
自律・自律を尊び、  
心身を鍛え、  
高い理想に向かおう



本校百年の歴史を振り返り、三万人を越える卒業生が築かれた業績、または膳所高魂とでもいえるべき伝統の精神を認しながら、二十一世紀に羽ばたく生徒諸君の、日常の生活目標、学習目標、さらには生涯を通じての

**新校訓を制定**  
百周年という節目の年にあたり、学校では、新しく、次のような「校訓」を制定しました。

**遵義**  
誠実な心で、  
真理と正義を追求し、  
人類の未来に貢献しよう。

**力行**  
自主・自律を尊び、  
心身を鍛え、  
高い理想に向かおう

校訓制定の趣旨  
一、生徒の日常の生活目標・学習目標となるものを示す。  
一、生徒の将来にわたる生き方の指針となるものを示す。  
一、伝統として引き継ぐべき本校の教育理念を示す。

同窓会入会式



2月27日に、同窓会入会式が行われ、男子253名、女子190名、合計443名の新しい同窓会員を迎えました。宇野会長より歓迎と激励の言葉が贈られました。創立百年の記念すべき年の卒業生の前途を祝福します。

OBによる進路講演

平成10年1月22日(木)、2年生の統一LHRの時間に、進路講演として、現滋賀銀行水口支店長の山田 実(昭和42年3月卒 膳高15回)氏より生徒に話をして頂きました。膳所高15回)氏より生徒に話をして頂きました。長く人事の採用を担当され、「企業が求める



若者像」の演題で、企業側から見た今の若い人達の行動や現状を指摘され、どういふ人材を企業は求め、どういふ能力や学力が必要とされているのかを熱く語って頂きました。百周年の前に先輩と後輩のつながりの大切さを実感したひとときでした。(第2学年主任 澤島 博)

サクラサク!

主要大学合格者数

(国立大学)	北海道大	9名	京都工繊大	13名
東北大	4名	京都大	42名	
千葉大	7名	京都教育大	3名	
東京大	6名	大阪大	26名	
横浜国立大	4名	大阪外語大	11名	
名古屋大	7名	神戸大	32名	
金沢大	8名	奈良女子大	5名	
滋賀大	13名	岡山山	5名	
滋賀医大	7名	広島大	9名	
(公立大学)	滋賀県立大	12名	京都府立医大	4名
京都府立大	13名	大阪市立大	11名	
大阪府立大	16名	同志社大	77名	
(私立大学)	自治医大	11名	立命館大	66名
慶応大	21名	龍谷大	53名	
早稲田大	3名	関西大	27名	
東京理科大	20名	関西学院大	69名	
京都産業大	7名	同志社女子大	7名	
京都薬科大	7名	近畿大	19名	
関西外大	7名			

平成10年3月30日現在



オワリヤ印店寄贈のスタンプ  
デザイン：井上直美さん  
(H10年3月卒)



〈総務部会より会員各位に印刷・発送したものが余りにも見苦しいので広報部会にて一部再発行しています〉

編集後記

昨年暮四大証券会社のひとつが破綻、23年ぶりの消費マイナス成長、ますますの不況、一部官僚の目を覆うばかりの downside の行儀の無さ、あ、今風に云うなら国民はキレまくりどころかたアホらし。でも木の芽のふくらみや風の音、月の光のやわらかさ、自然のすべてに明るく春が聴こえて...とまで書きましたが、皆様のお手元に届く頃にはもう晩春のかけりをのせて月は朧、新緑の季節もそこ迄と移ろいでいるでしょう。そして最も喜ばしい行事、我が母校の創立百周年記念式典を今秋に迎えることになりました。来世紀に向けて後輩達の良き第一歩となります様、一人でも多く参加して盛り上げて下さい。あの恩師に逢いたくありませんか。あの人に逢えるかも。広報部一同、微力ながら頑張って百周年迄にもう1号発刊する予定です。ご愛読を。(M・T)

インターネットで百周年を検索してみれば、計らずもオリンピック(1996年・アトランタ)がでてきました。今年は冬に燃えた長野五輪。日本中が一つになったかと思えました。続いているパラリンピックでも。21世紀を見据えてのこれからの100年・想像もつかない世界。少なくとも今より平和であること祈りたいと思います。膳所高の百周年記念式典も近づいて来たこの時、広報としてもその盛り上がりへの一翼を担いたいと努力しています。12号目を迎えた今、力不足・人数不足ながら、何とか発刊の運びとなったものの、一番欲しいのは、皆様からの関心と情報。充実した紙面になる為の積極的な御協力を心待ちにしております。(Y・T)

- 上野滋子 (東2) 谷口啓司 (膳10)
- 田中美津代 (東4) 佐田葉子 (旧大)
- 山田 勲 (膳11) 宮崎美恵 (大3)
- 高橋好乃 (東4) 花坂多恵子 (膳6)
- 服部 章 (膳12) 岡澤則子 (膳26)
- 吉田 稔 (膳26) 福井 浩 (膳29)
- 谷澤一輝 (膳32) 松田和代 (膳33)